

新潟山形南部連絡道路（片貝～金丸）

第1回 計画段階評価

目次

1. 対象地域および評価対象区間	・・・	1
2. 計画段階評価の進め方（案）	・・・	4
3. 地域の概況	・・・	5
4. 道路・地域の現状と課題	・・・	9
5. 政策目標（案）の設定	・・・	19
6. 意見聴取方法（案）	・・・	21

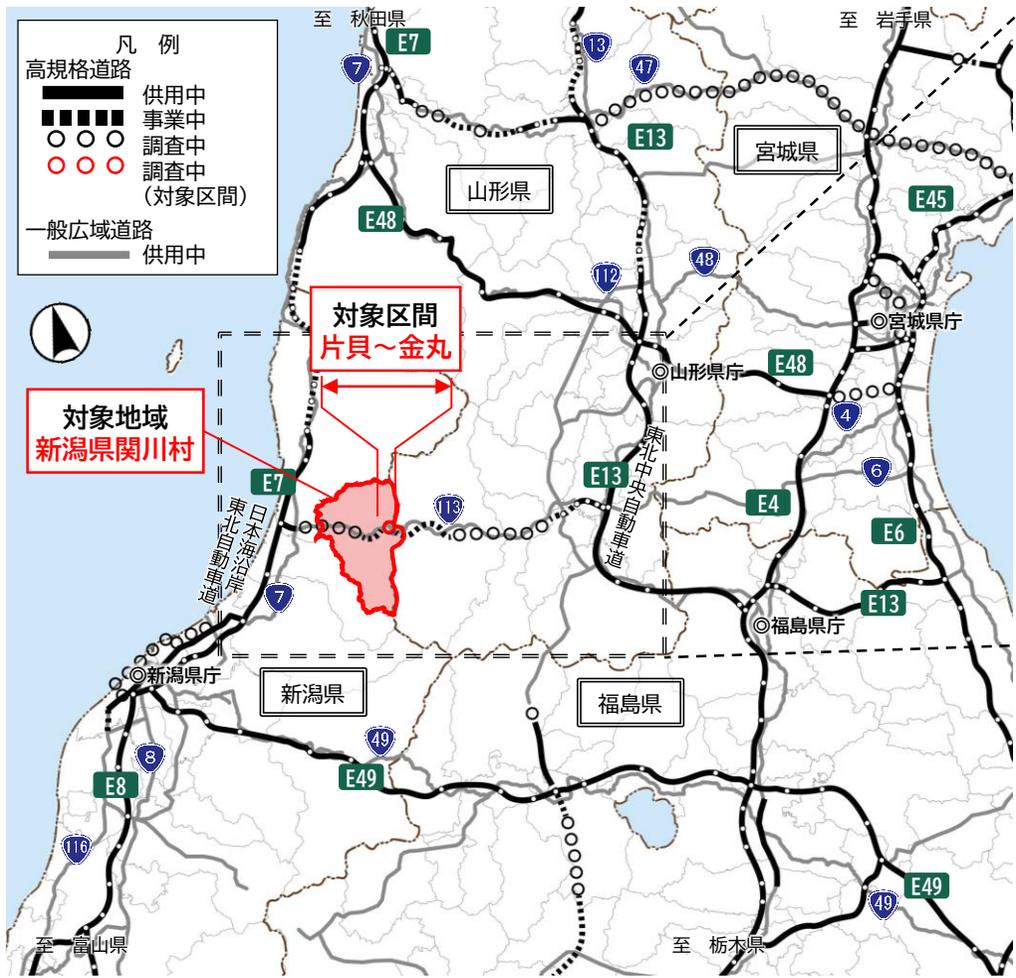
令和5年10月20日

国土交通省 北陸地方整備局

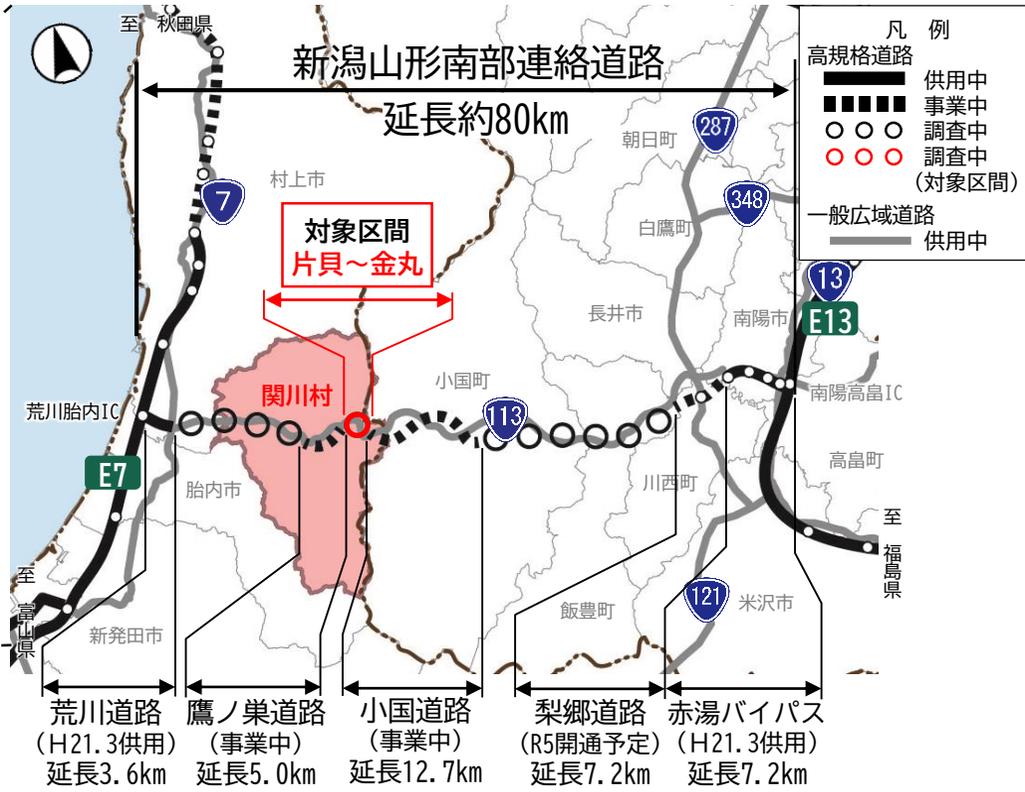
1. 対象地域および評価対象区間

- 新潟山形南部連絡道路は、日本海沿岸東北自動車道及び東北中央自動車道を接続する計画延長約80kmの高規格道路であり、荒川道路、赤湯バイパスの約11kmが開通済み。鷹ノ巣道路、小国道路、梨郷道路の約25kmが事業中。
- 対象地域は新潟県北部に位置する新潟県関川村で、評価対象区間(以下、対象区間)は、県境部の「片貝～金丸」。

■ 図1 広域図



■ 図2 詳細図



■ 表1 新潟山形南部連絡道路の整備延長

計画延長	開通済み延長	事業中延長
約80km	10.8km (約14%)	24.9km(約31%)

1. 対象地域および評価対象区間(国道113号)

- 「越後米沢街道」は山形県置賜地方から新潟県下越地方に通じる約70kmの旧街道であり、明治17年に現在の国道113号が完成するまで約360年もの間、物流のための貴重な街道として使用されていた。沿線は中山間地の街道で、この中に13の峠が存することから「十三峠」と呼ばれており、現在は日本風景街道として登録されている。
- 昭和42年の「羽越水害」を契機に、災害復旧事業及び改築事業を直轄で施工し、現在の国道113号の基本形となった。

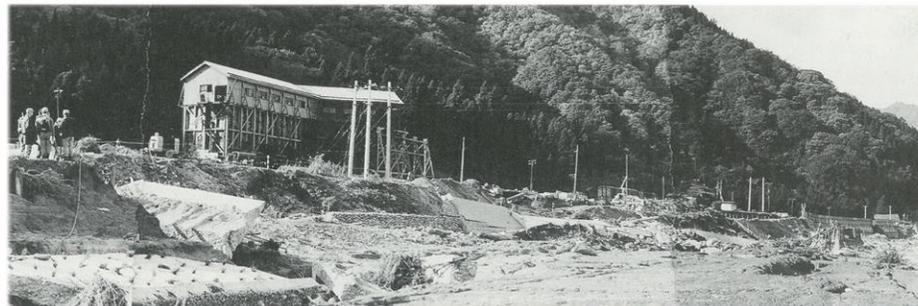
■ 図1 越後米沢街道のルート図



■ 写真1 羽越水害直後の状況写真



国鉄米坂線 越後金丸駅



関川村 金丸 (S42.10.25)

■ 写真2 越後米沢街道 (新潟県 関川村)



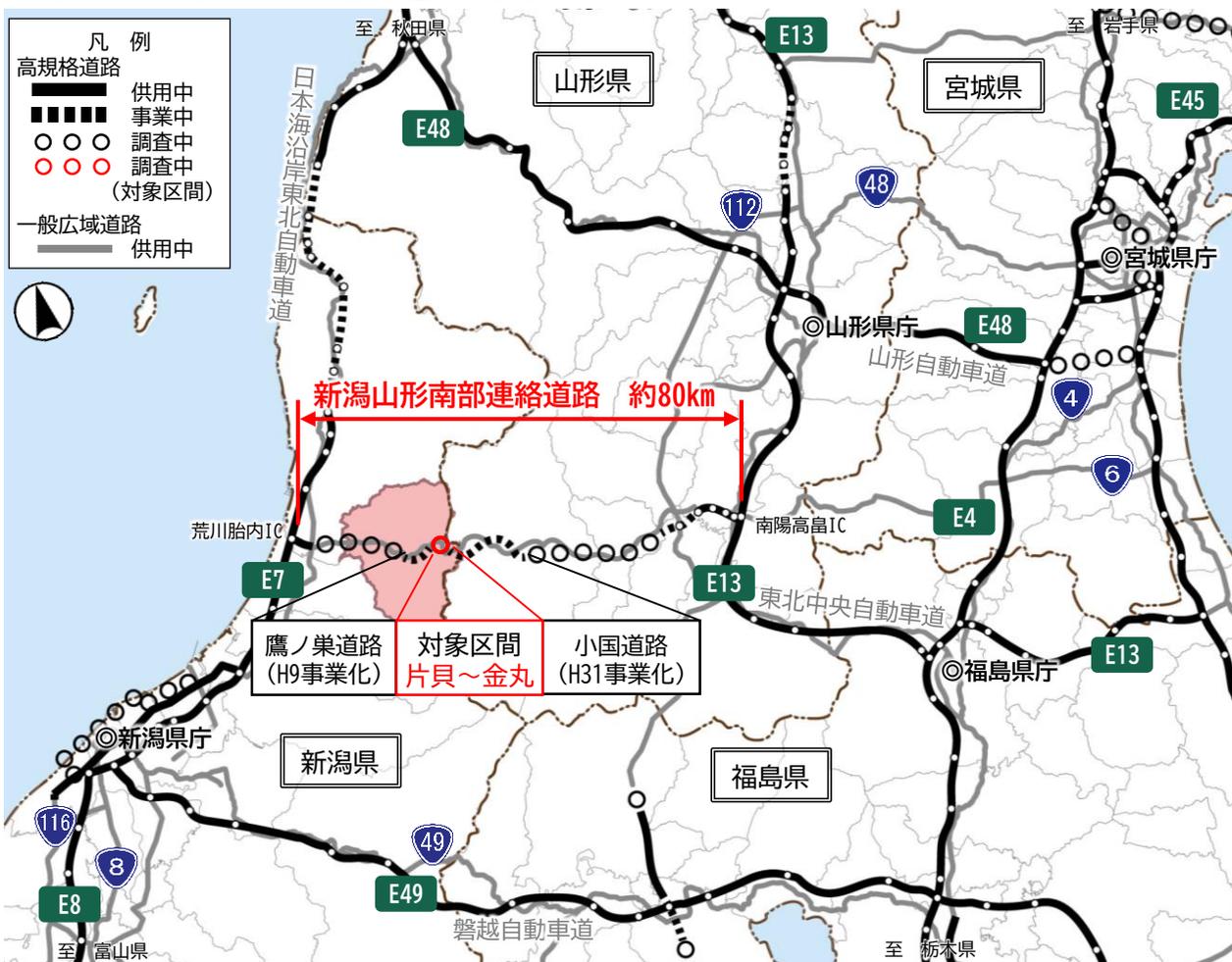
鷹ノ巣峠入口

榎峠入口

1. 対象地域および評価対象区間(新潟山形南部連絡道路)

- 新潟山形南部連絡道路は、新潟県と山形県を相互につなぎ、日本海沿岸東北自動車道、東北中央自動車道などの高速道路と併せて、災害に強い高規格道路ネットワークの形成や地域間のアクセス性向上などを目的とした道路である。
- 対象区間に隣接して、鷹ノ巣道路及び小国道路の事業を推進中である。

■ 図1 新潟山形南部連絡道路位置図



■ 写真1 鷹ノ巣道路の状況



■ 写真2 小国道路の状況



2. 計画段階評価の進め方(案)

- 計画段階評価は、北陸地方小委員会を3回、意見聴取を2回。
- 第1回北陸地方小委員会では、計画段階評価手続きの進め方(案)のほか、道路・地域の現状と課題、政策目標(案)、意見聴取方法(案)等について議論。

(今回)

【令和5年10月20日】

計画段階評価

北陸地方小委員会 (第1回)

- 計画段階評価手続きの進め方(案)
- 道路・地域の現状と課題
- 政策目標(案)
- 意見聴取方法(案)

意見聴取 (第1回)

- 意見聴取内容
 - ・ 道路・地域の課題
 - ・ 求められる道路機能
- 意見聴取方法
 - 〈アンケート〉
対象者：地域住民
道路利用者
企業等
 - 〈ヒアリング〉
対象者：関係自治体
団体
企業等

北陸地方小委員会 (第2回)

- 第1回意見聴取結果の確認
- 政策目標の決定
- 評価項目の設定
- 対応方針(複数案)の設定
- 意見聴取方法(案)

意見聴取 (第2回)

- 意見聴取内容
 - ・ 対応方針(複数案)の検討に際し重視する項目
- 意見聴取方法
 - 〈アンケート〉
対象者：地域住民
道路利用者
企業等
 - 〈ヒアリング〉
対象者：関係自治体
団体
企業等

北陸地方小委員会 (第3回)

- 第2回意見聴取結果の確認
- 対応方針案(概略ルート、構造等)

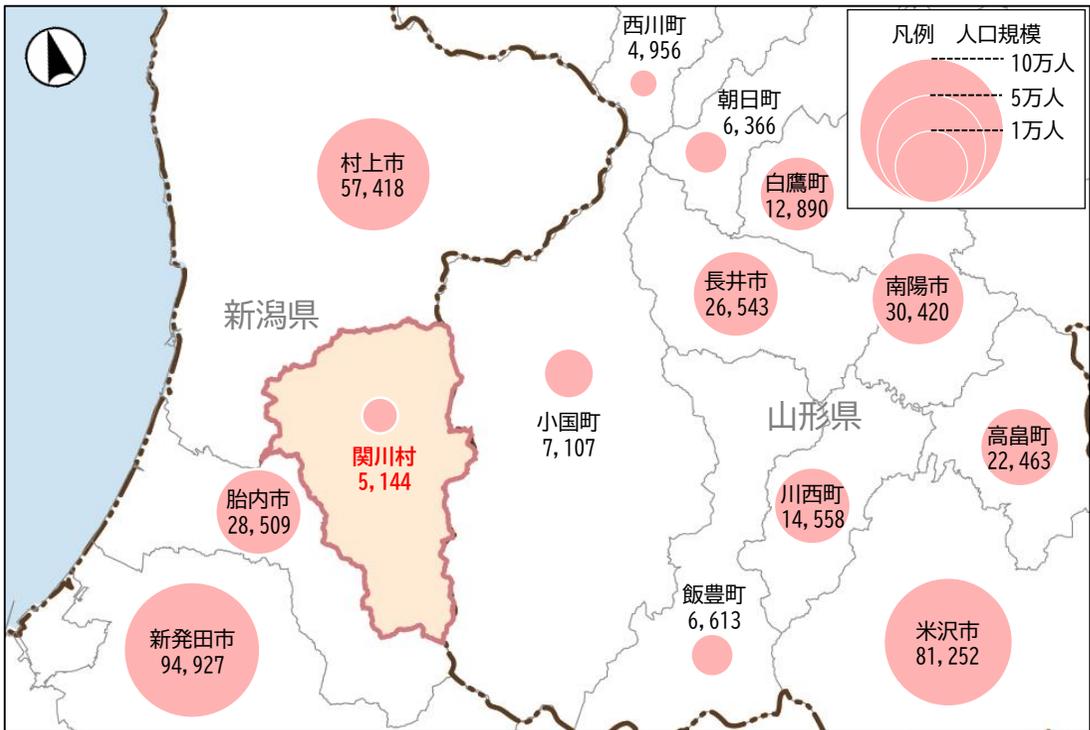
対応方針(概略ルート、構造)の決定

地方小委員会

3. 地域の概況(①人口)

- 対象地域の人口は約5千人で、全国及び新潟県を上回るペースで減少している。
- 生産年齢人口の割合が低く、全国と比較して特に20代～40代の割合が低くなっている。

■ 図1 対象地域周辺の人口



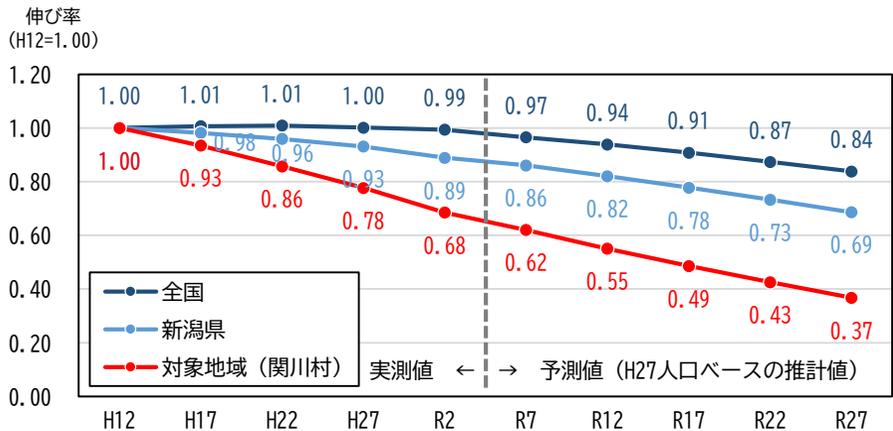
資料：国勢調査 (R2)

■表1 関川村の人口、世帯数

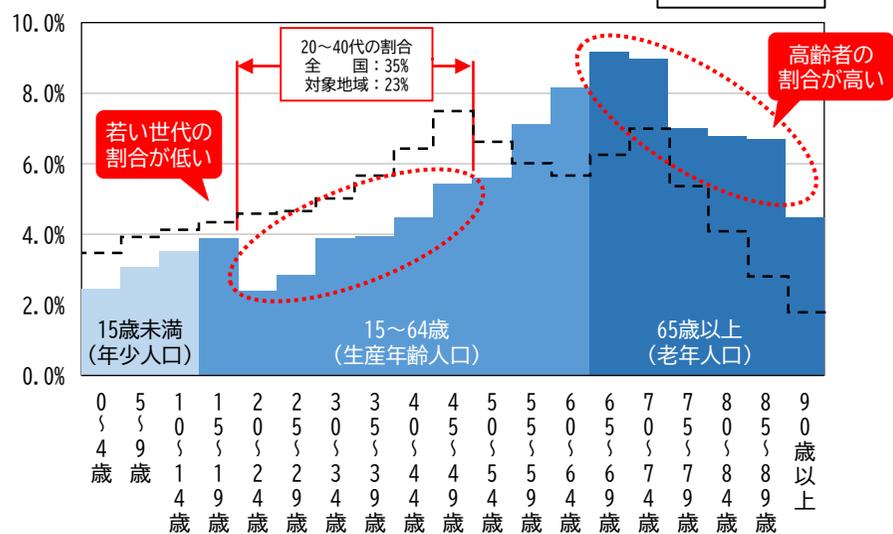
	関川村	新潟県計
人口(人)	5,144	2,201,272
世帯数(世帯)	1,756	864,750
面積(km ²)	299.61	12583.96
人口密度(人/km ²)	17.2	174.9

資料：国勢調査 (R2)

■ 図2 人口推移と伸び率の比較



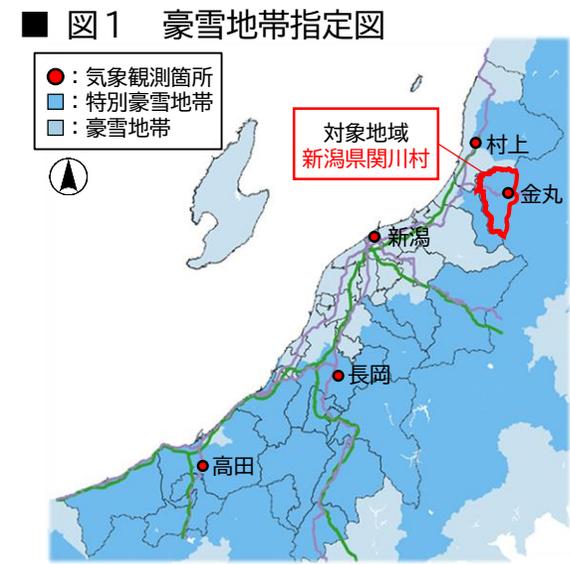
■ 図3 対象地域の年齢別人口 (R2)



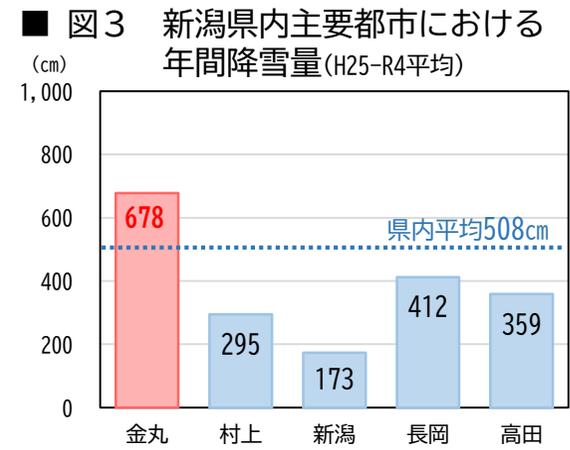
資料：国勢調査 (H12年～R2年)
 将来推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所) (H27年～R27年)

3. 地域の概況(②気象条件)

- 関川村は全域が特別豪雪地帯に指定されており、国道113号沿線のうち、対象区間は最深積雪が多い区間である。
- 新潟県内の主要都市と比較し降雪が多く、年間降雪量は過去10年平均で6mを超えている。

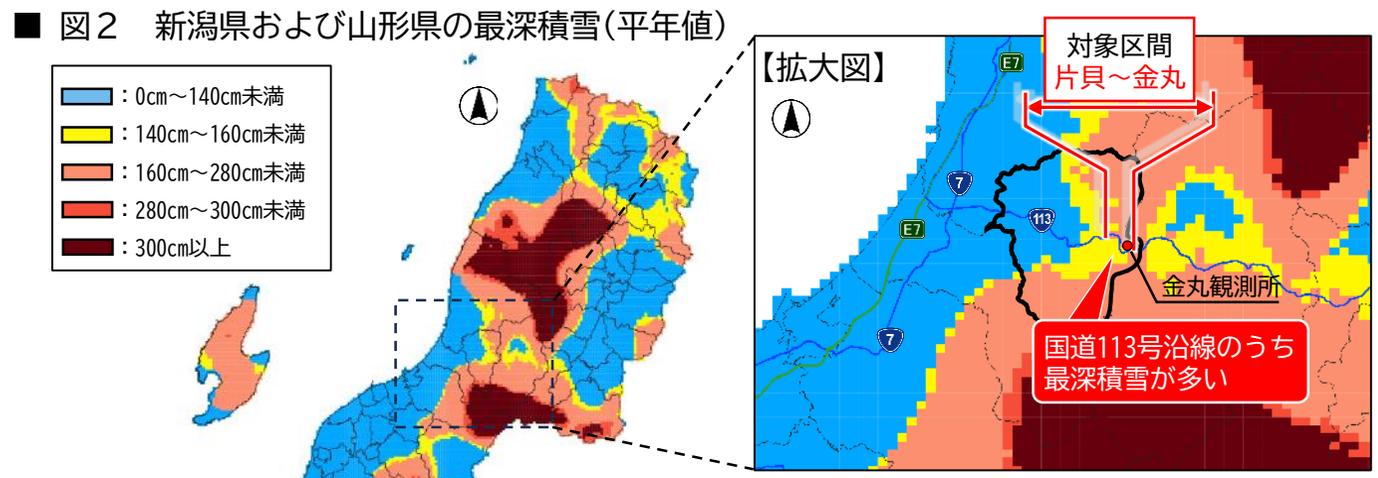


資料：国土交通省HPをもとに作成



※隣接市および県内主要都市（下越地方、中越地方、上越地方でそれぞれ最も人口の多い都市を選定）
 ※県内平均は、新潟県内35観測所の平均

資料：北陸地方整備局、気象庁テレメータ

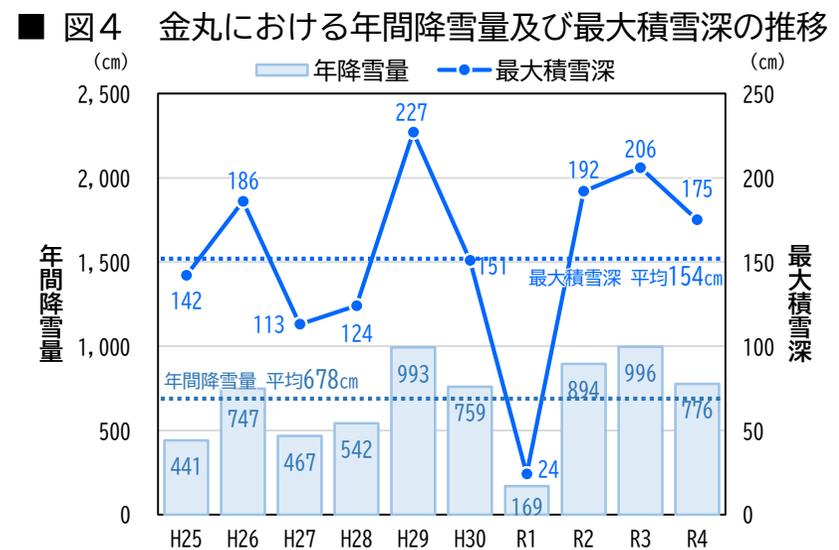


資料：気象庁（メッシュ平年値2020最深積雪（年））

■ 写真1 国道113号の冬期交通状況



[金丸地区の状況 (R4.12)]

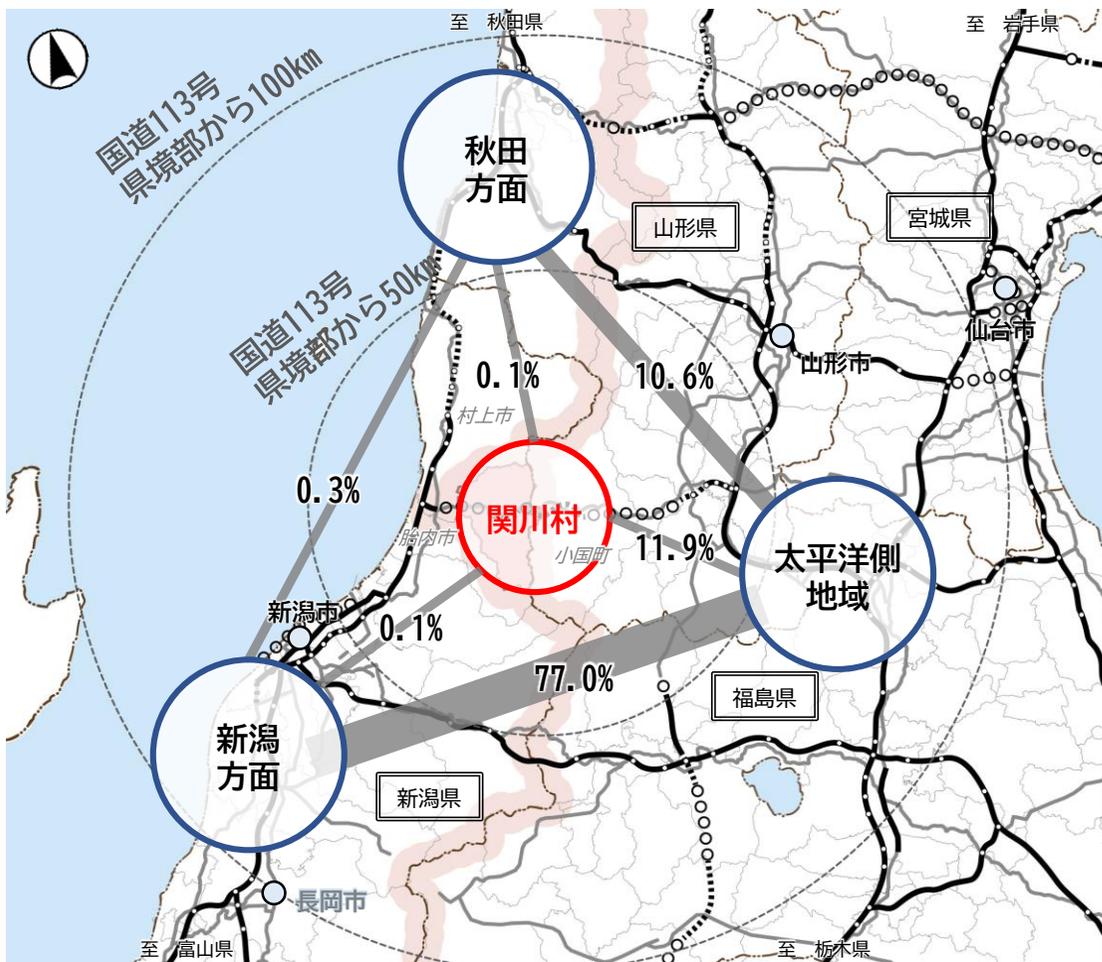


資料：北陸地方整備局テレメータ

3. 地域の概況(③交通特性)

- 国道113号は、新潟県～山形県・宮城県間の利用など日本海側と太平洋側を結ぶ広域的な幹線道路であり、県境を通過する交通のうち、約75%が100kmを越える長トリップとなっている。
- 新潟・山形県境部を利用する交通量の大型車混入率は、新潟県内直轄国道の平均の約2倍である。

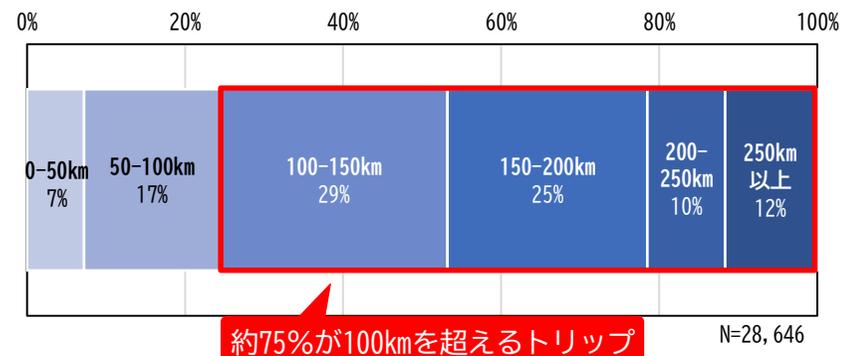
■ 図1 国道113号県境通過車両のOD特性(トリップ数)



※秋田方面…村上市以北、新潟方面…胎内市以南、太平洋側地域…小国町以東
※内々交通は含まない

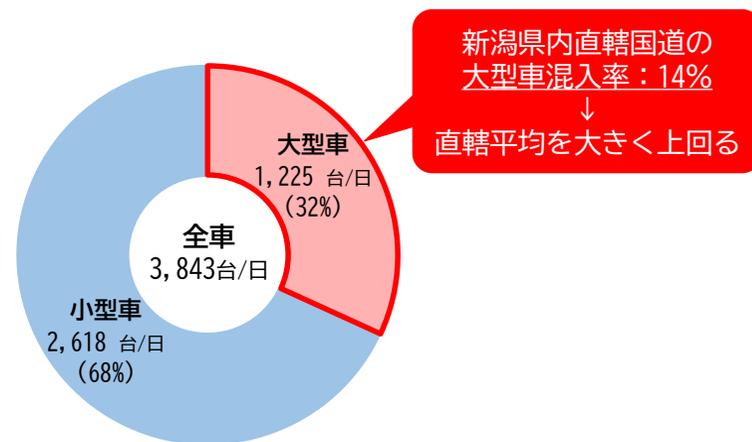
資料：ETC2.0プローブデータ(R4.10)

■ 図2 国道113号県境通過車両のトリップ長



資料：ETC2.0プローブデータ(R4.10)

■ 図3 国道113号(県境)の日交通量

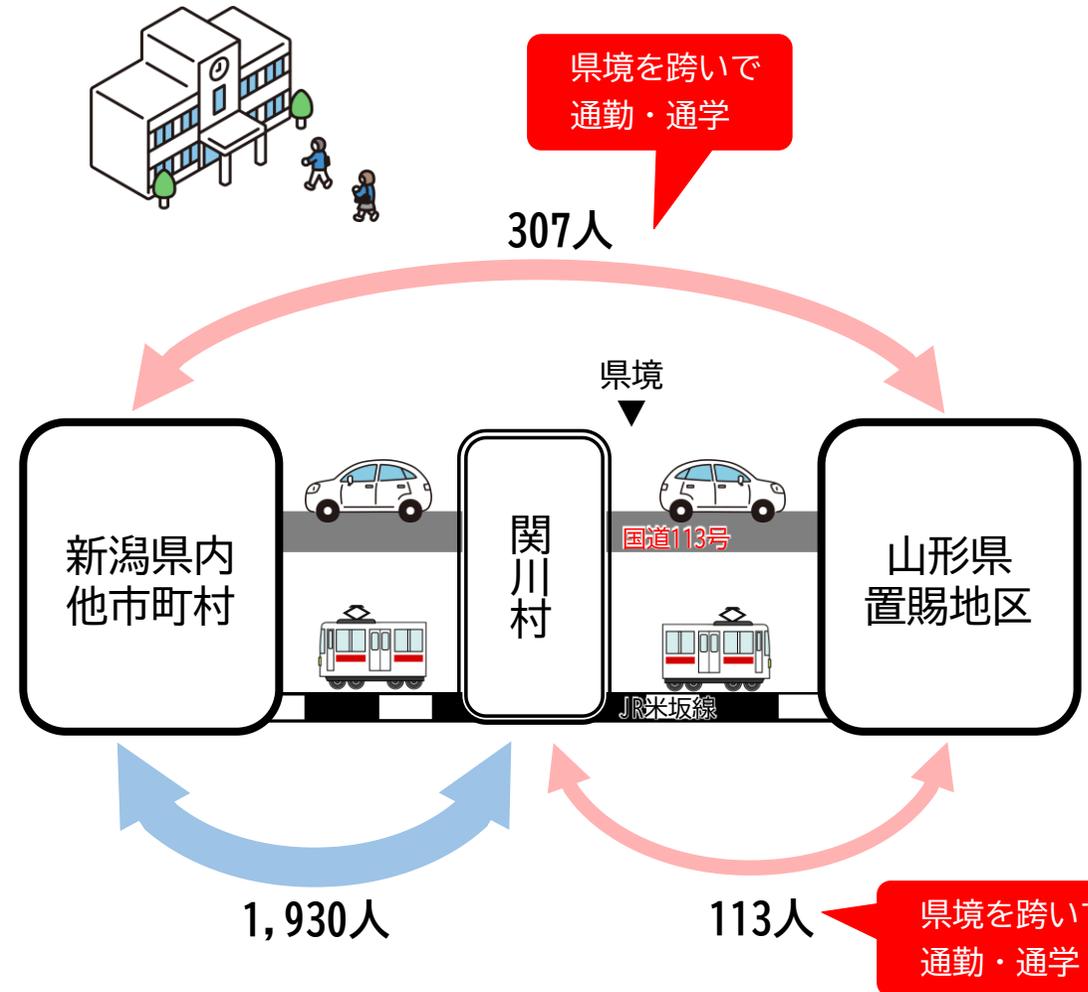


資料：R3全国道路・街路交通情勢調査

3. 地域の概況(④地域間流動)

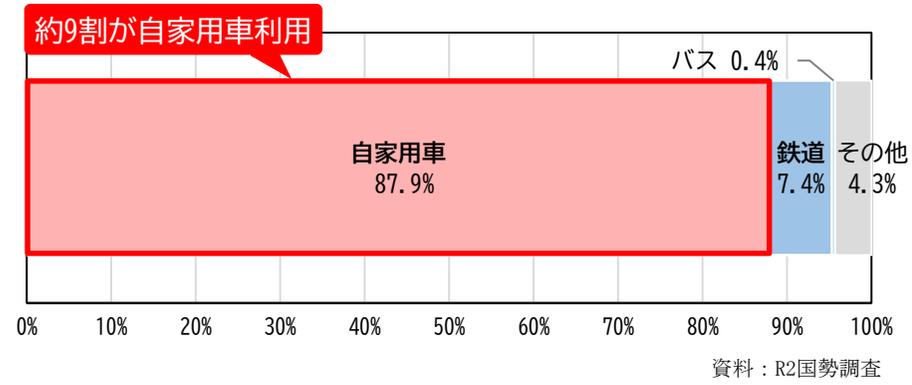
- 対象地域周辺では1日400人以上が県境をまたいで通勤・通学しており、日常生活において両県とつながっている。
- 通勤・通学時の利用交通手段は自家用車が約9割を占め、自動車保有台数も全国の約1.8倍で自家用車に依存している地域にとって、県境部の幹線道路である国道113号は重要な路線になっている。

■ 図1 地域間流動状況(通勤・通学) ※1日あたり

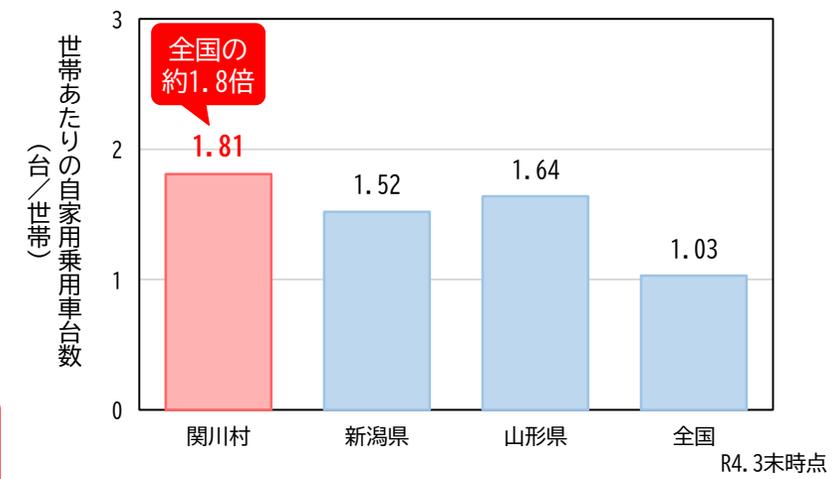


資料：R2国勢調査

■ 図2 関川村における通勤・通学時の利用交通手段



■ 図3 自動車保有状況



資料：自動車保有台数（一）自動車検査登録情報協会）新潟県運輸概況（国土交通省北陸信越運輸局）

4. 道路・地域の現状と課題(①通行規制)

- 対象区間では過去10年(H25～R4)で28回の通行規制が発生しており、通行規制回数は増加傾向である。
- 通行規制のうち約3割が全面通行止めであり、1回あたりの規制時間が国道113号の他区間に比べて長い。
- 国道113号は周辺に代替路がないことから、通行止め時は大幅な迂回が必要となり、社会活動に影響を与えている。

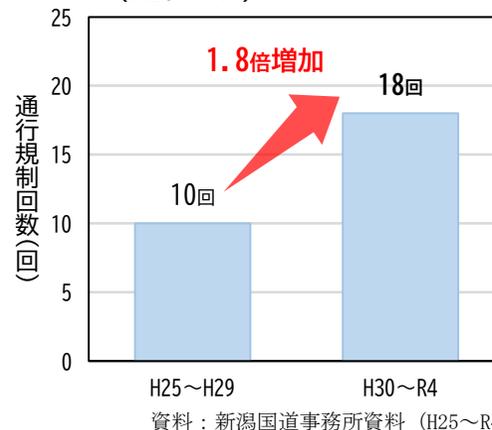
■ 図1 国道113号通行規制状況 (H25～R4) と新潟～山形間の迂回状況



- ・新潟から山形市・仙台市に向かうには**国道113号**を利用するため、**非常に重要な道路**である。
- ・通行止めの際は**磐越道等への迂回**が必要となり、燃料費や高速料金が発生し経費が掛かり輸送時間も増加する。

資料：物流事業者ヒアリング調査 (R5. 2)

■ 図2 対象区間の通行規制回数 (H25～R4)

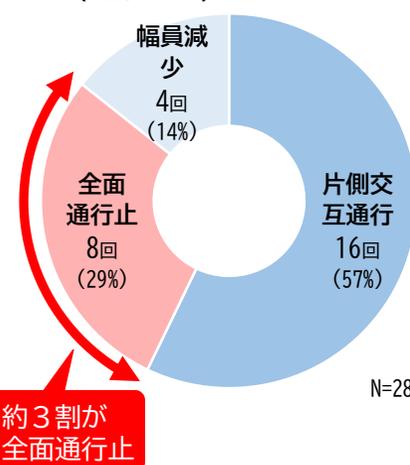


■ 写真1 通行規制状況



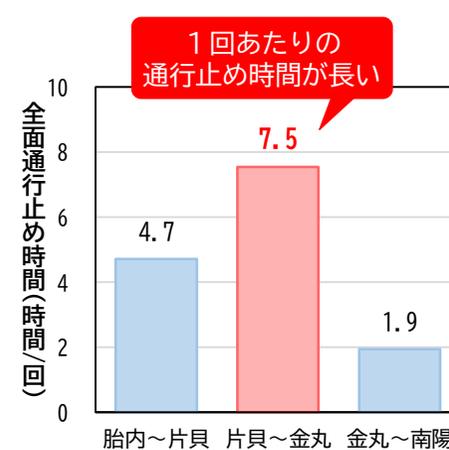
[ハツ口大橋 交通事故]

■ 図3 対象区間の通行規制の内訳 (H25～R4)



資料：新潟国道事務所資料 (H25～R4)

■ 図4 通行止め時間時間 (H25～R4)

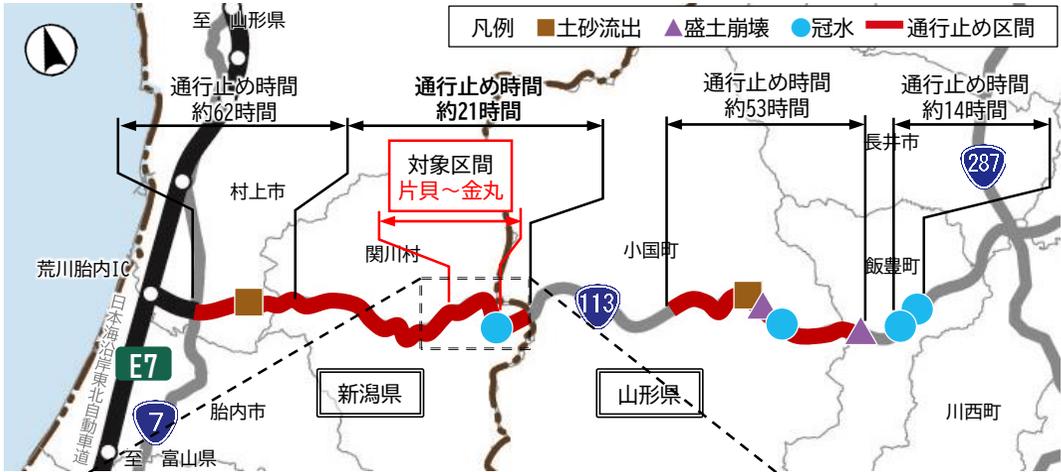


資料：新潟国道事務所資料 (H25～R4)

4. 道路・地域の現状と課題(②災害)

- 令和4年8月豪雨により、国道113号では長期間の通行止めが発生し、当該地域周辺は迂回路が無く、通勤や物流等において大きな影響が生じた。
- 対象区間は洪水浸水想定区域や災害監視が必要な箇所が多数あり、通行止めや沿道集落孤立のリスクが高い。

■ 図1 令和4年8月豪雨による国道113号通行止め状況



■ 写真1 令和4年8月豪雨による国道113号の被災状況



〔国道113号 関川村金丸地先 (R4.8.4) 〕

■ 図2 県境部の災害監視区間分布



■ 写真2 災害監視が必要な箇所



【国道113号通行止めによる沿線市町村等の影響】

【新潟県関川村】
 ○役場や民間企業などの村外通勤者約500名の出勤が困難な状況発生
 ○製品出荷や原材料の搬入遅延等の物流に影響

【山形県小国町】
 ○小国町全域(約3,000世帯)が孤立状態が発生
 ○帰宅困難者(約40名)や町外通勤者が出勤できない状況が発生し、町立病院が休診等の影響。
 ○原材料の搬入遅延等の物流に影響(25社)

資料：新潟山形南部連絡道路建設促進要望書 (R4.9.26)

○通勤経路や輸送ルートが寸断され、**入荷や出荷も8/3(水)~8/6(日)までストップした。迂回路やダブルネットワークの確保を期待している**

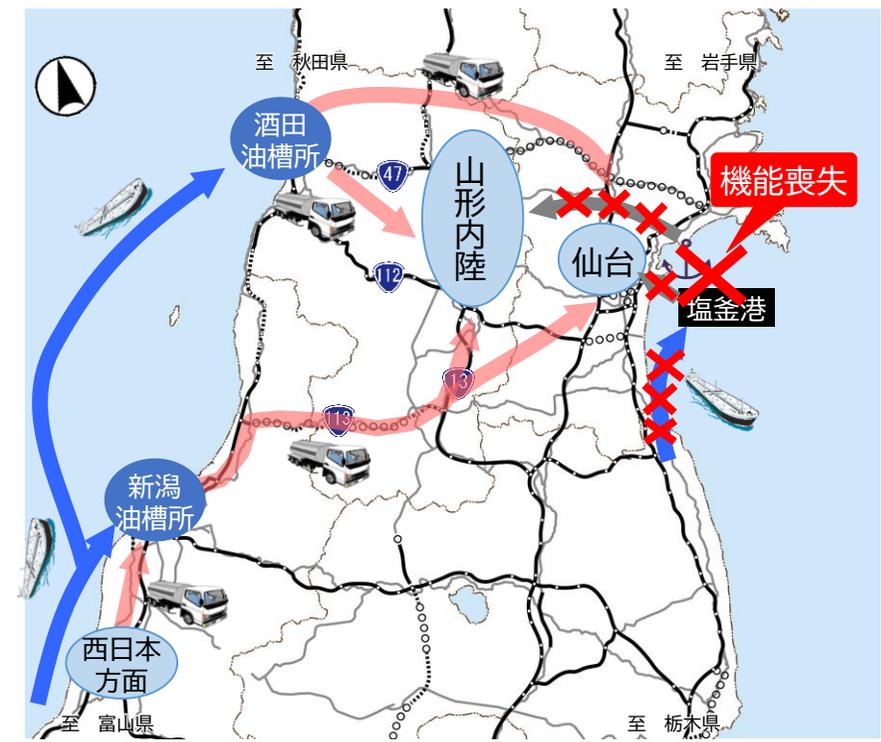
資料：小国町企業ヒアリング調査 (R4.12)

資料：新潟国道事務所資料 (R4)
資料：ハザードマップ、道路防災情報マップ

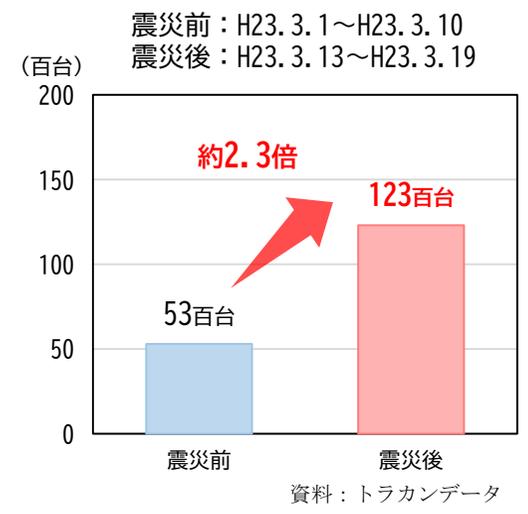
4. 道路・地域の現状と課題(③災害時支援)

- 東日本大震災では、塩釜港など太平洋沿岸の港が被災し、物資は新潟港など日本海沿岸の港から幹線道路を利用し、被災地へ向けて輸送していた。
- 国土を横断する国道113号の交通量は約2.3倍に倍増し、災害時の物資輸送ルートとして機能した。

■ 図1 震災前後の物資輸送の変化 (燃料供給)



■ 図2 国道113号の交通量の変化



■ 写真1 震災後の状況



■ 写真2 震災後の状況



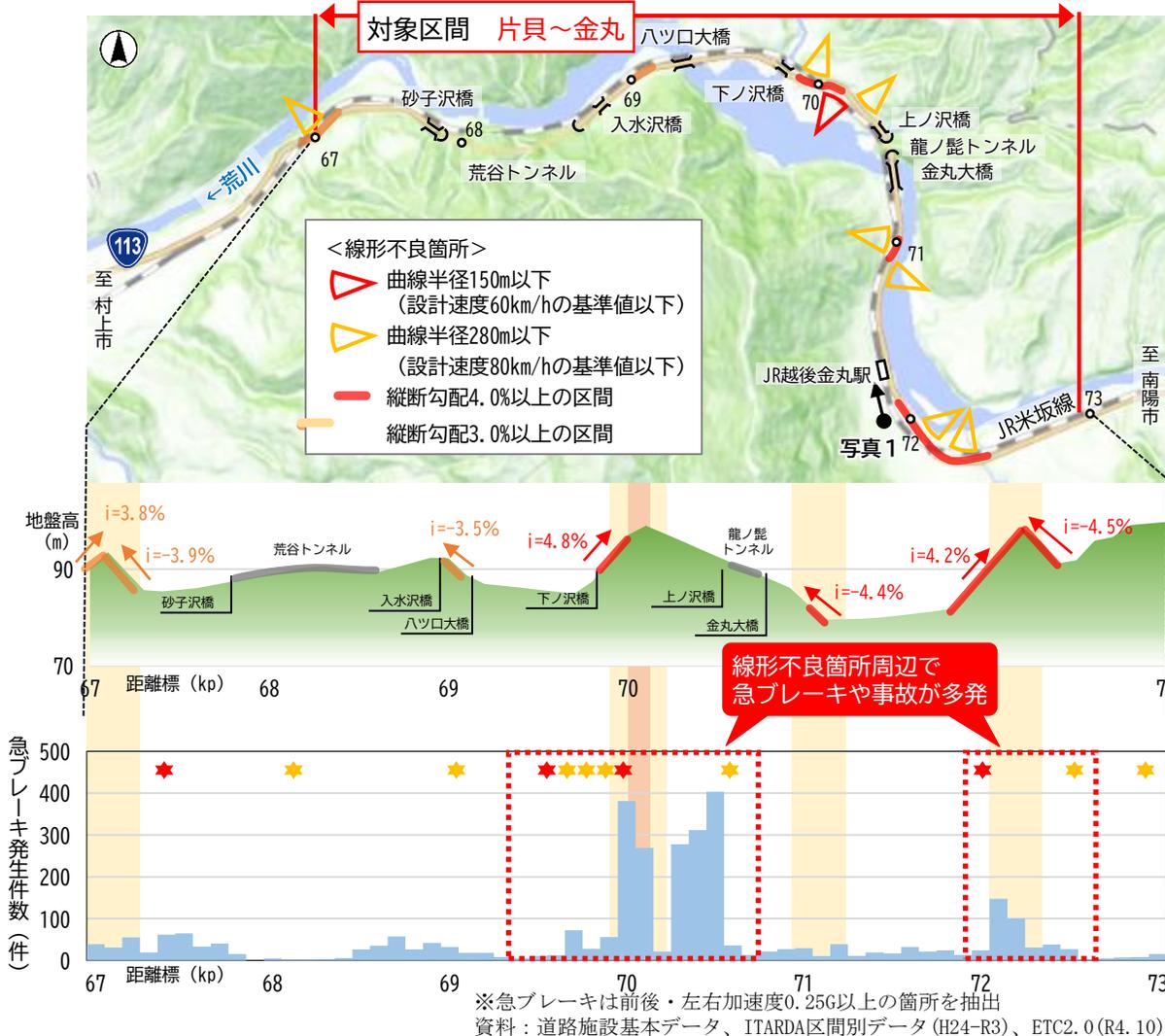
■ 写真3 震災後の国道113号の状況



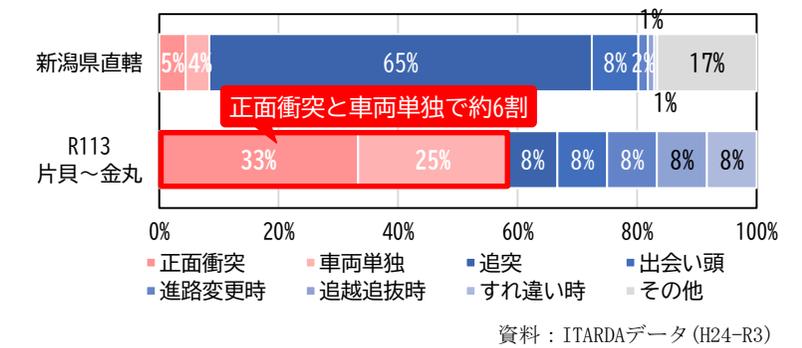
4. 道路・地域の現状と課題(④幾何構造)

- 対象区間は一級河川荒川とJR米坂線に挟まれた狭い区間を通過していることから急カーブや急勾配箇所が多く、幾何構造に起因すると考えられる正面衝突と車両単独事故が約6割を占め、死亡事故も過去10年で4件発生している。
- 物流事業者からは、急カーブ等の幾何構造に対する改善要望が最も多くあげられている。

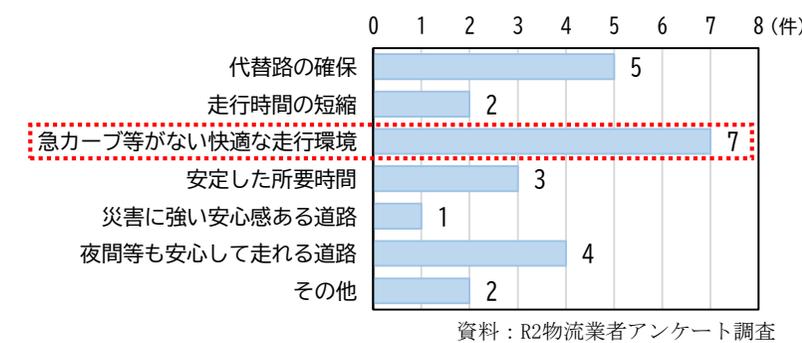
■ 図1 対象区間の線形不良箇所と急ブレーキ及び死傷事故発生状況



■ 図2 事故類型の内訳



■ 図3 物流事業者の国道113号への改善要望



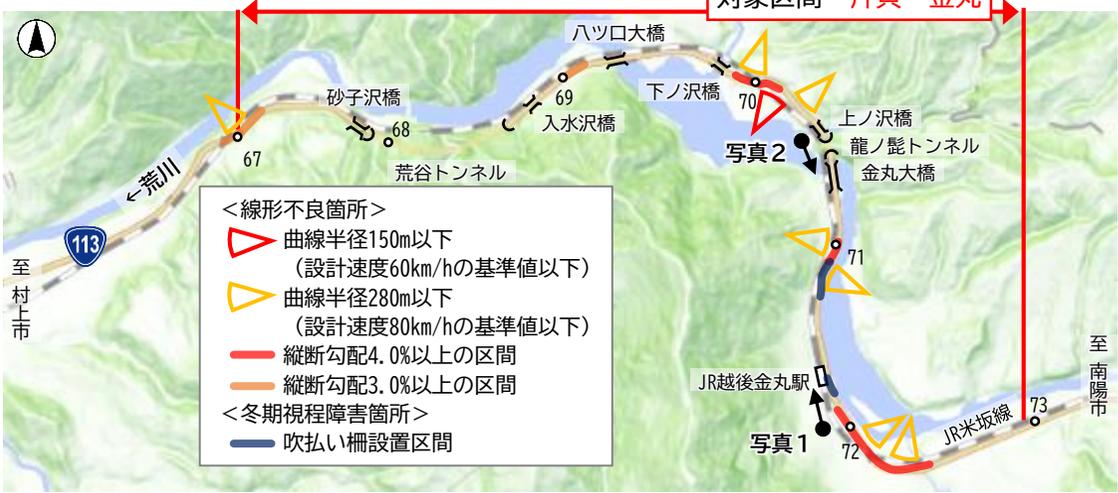
■ 写真1 単独事故の発生状況



4. 道路・地域の現状と課題(⑤冬期交通状況)

- 対象区間は山間部に位置し、急勾配箇所や地吹雪等の発生リスクの高い場所が点在しており、新潟県内の他の県境部に比べ降雪時の速度低下が大きく、冬期の走行環境に課題を有する。
- また、雪庇処理等の冬期道路管理に伴う通行規制により、冬期の安定した走行確保に課題を有する。

■ 図1 対象区間の冬期課題箇所



■ 写真1 国道113号の冬期の状況 (吹雪による視程障害)



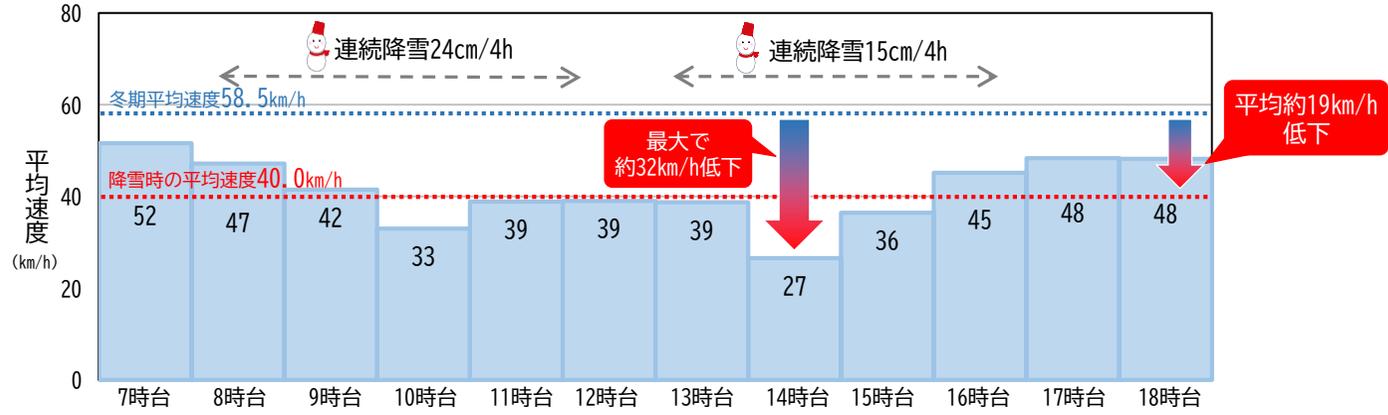
金丸 R2.12

■ 写真2 国道113号の冬期の状況 (雪庇処理に伴う交通規制)



ハツロ大橋 H29.2

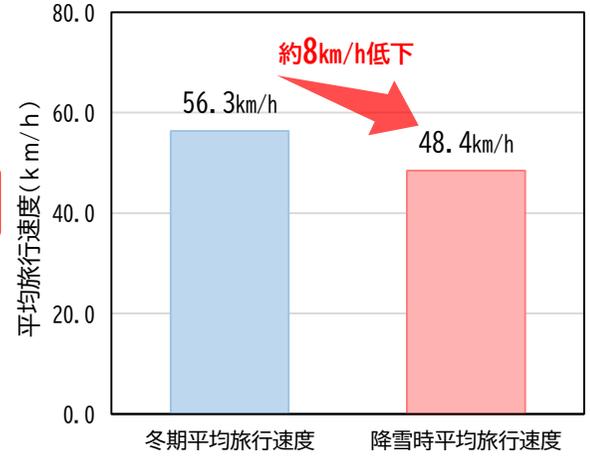
■ 図2 国道113号(片貝～金丸) 区間における降雪時の速度低減



※対象日 : 令和4年12月19日 (金丸地区: R4.12~R5.2の期間中に日降雪量が最も多い日)
 対象区間: 国道113号 67kp~73kp区間

資料: ETC2.0(R4.12~R5.2)

■ 図3 他地域における県境部の降雪時速度



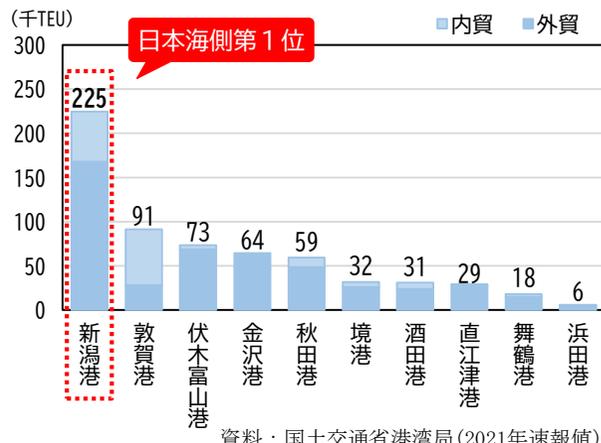
※対象路線: 国道7号、国道49号、国道17号 (国道8号・国道18号はデータが無いため対象外)
 ※降雪時: R4.12~R5.2の期間中に日降雪量が最も多い日

資料: トラカンデータ (R4.12~R5.2)

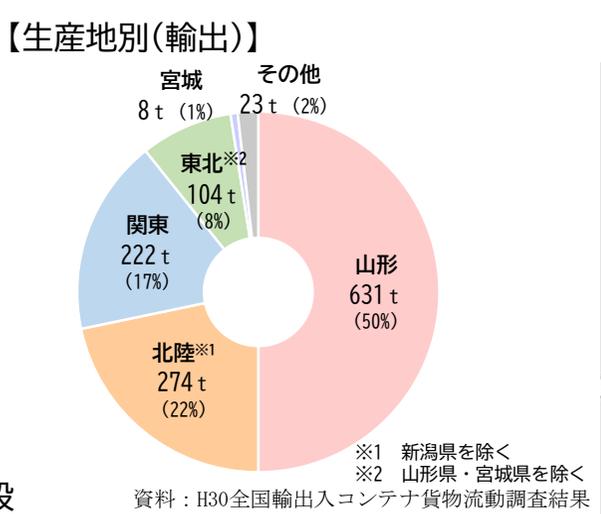
4. 道路・地域の現状と課題(⑥物流)

- 国際拠点港湾である新潟港は、北東アジア地域の拠点港湾として、釜山港等を中心に週9便の定期コンテナ航路が就航するなど、本州日本海側最大のコンテナ取扱量を誇る。
- 県外取扱貨物の多くは東北方面で生産・消費されており、トレーラー輸送を主とする新潟港にとって、新潟～山形県間の最短経路である国道113号は物流を支える重要な役割を担っており、信頼性の高いネットワークが求められる。

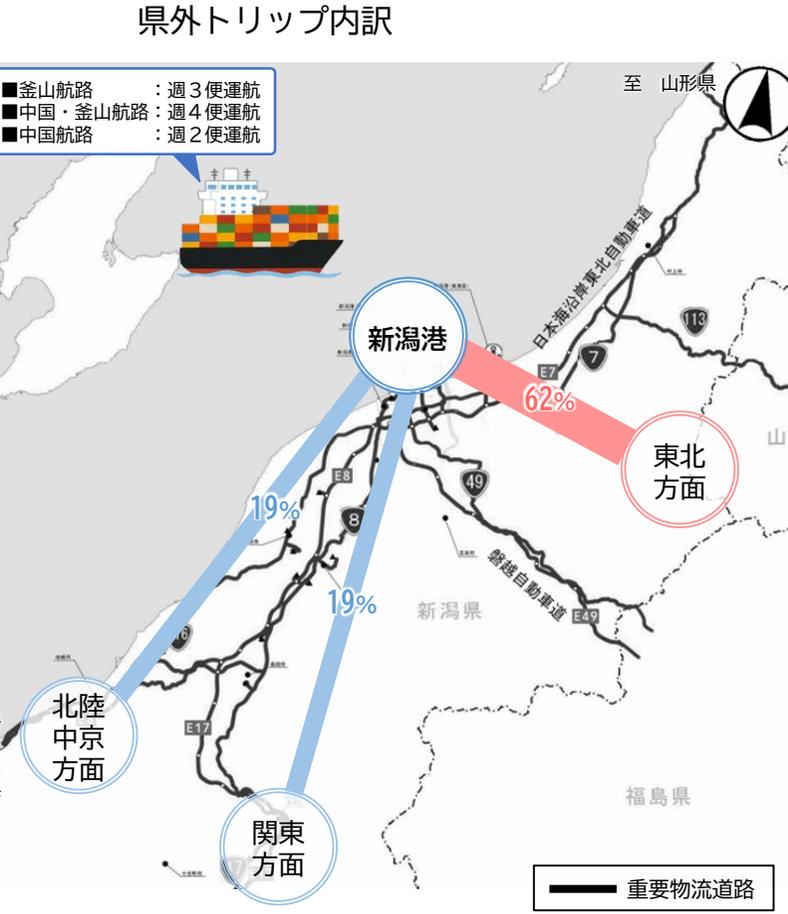
■ 図1 日本海側港湾のコンテナ取扱量



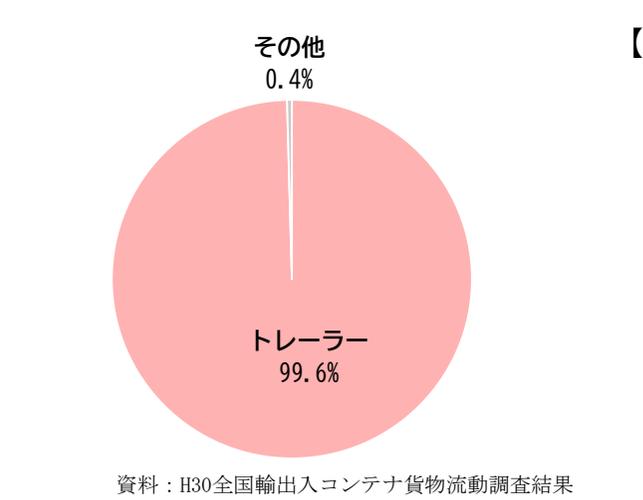
■ 図2 新潟港における県外取扱貨物量



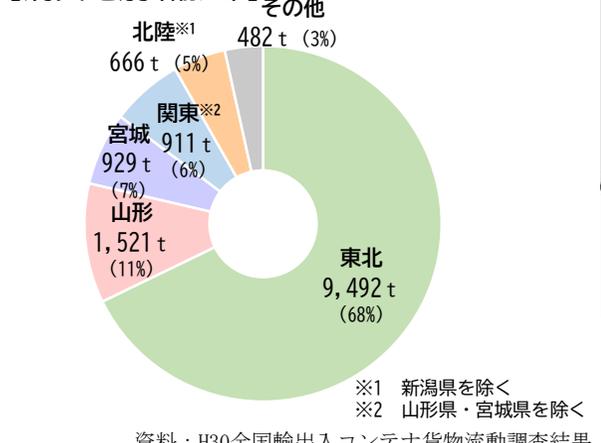
■ 図3 新潟港を起終点とする貨物用途車の県外トリップ内訳



■ 図4 新潟港におけるコンテナ輸送手段



■ 図5 新潟港における県外取扱貨物量の消費地別



4. 道路・地域の現状と課題(⑦地域産業の支援)

- 山形県小国町には、世界シェア1位（65%を占める）を含む数多くの半導体関連製品を供給している企業が立地しており、半導体製造のサプライチェーンにおいて重要な役割を担っている。
- 令和4年8月豪雨によって国道113号が通行止めになったことで、従業員が帰宅困難となる他、発送に遅延が生じる等の影響が発生。新潟山形南部連絡道路が整備されることで、ダブルネットワークの確保が期待されている。

■ 図1 国道113号を利用した半導体関連製品の物流概要



■ 図2 国道113号通行止めによる影響（令和4年8月豪雨）

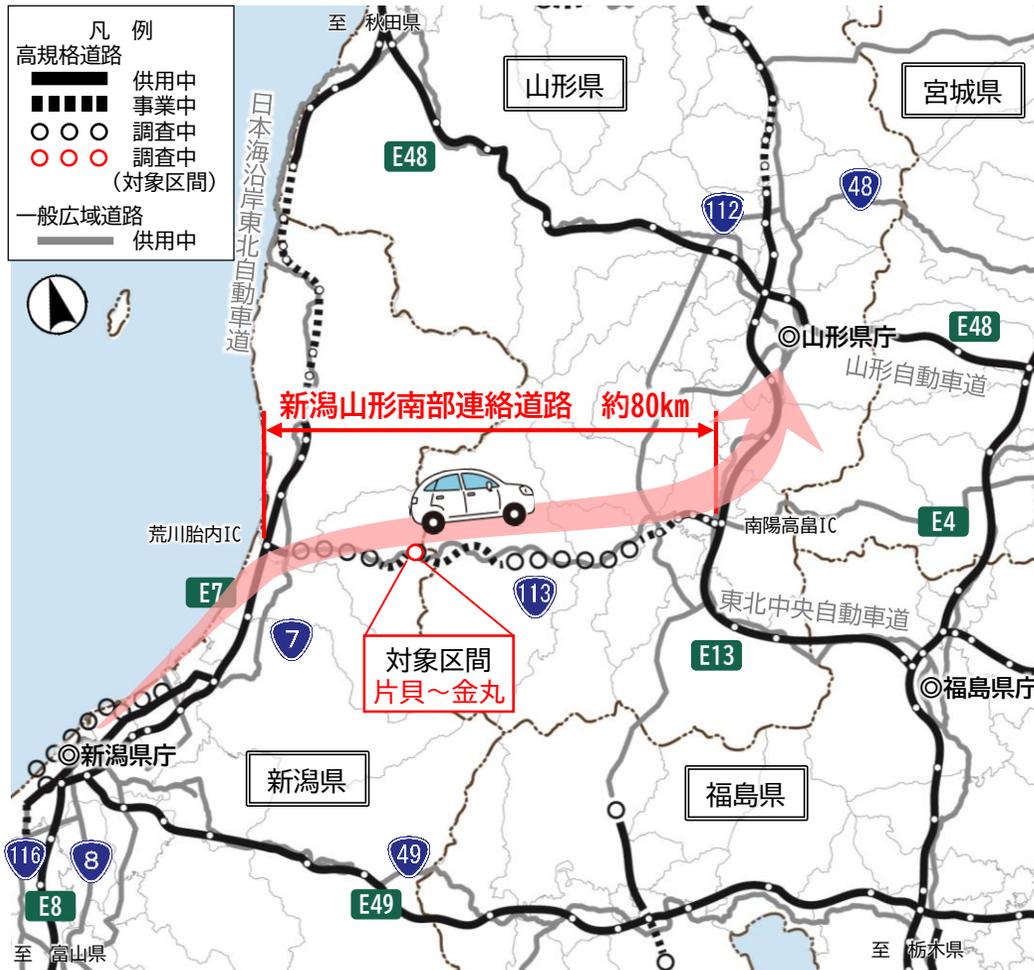


資料:小国町立地企業ホームページ、パンフレット

4. 道路・地域の現状と課題(⑧道路の速達性)

- 新潟山形両県の県庁所在地である新潟市から山形市までの高規格道路のうち、最短経路である新潟山形南部連絡道路で唯一未整備区間が残っている。
- 新潟山形南部連絡道路が全線整備された場合、新潟市から山形市までの所要時間は約36分短縮される見込みであり、現在の道路規格では高規格道路としての速度サービスが不十分な状況である。

■ 図1 新潟山形南部連絡道路位置図



■ 図2 所要時間の比較(新潟市～山形市間)



※全線整備後の設計速度は全区間80km/h、延長は現道の延長で算出している。
 資料：R3全国道路・街路交通情勢調査

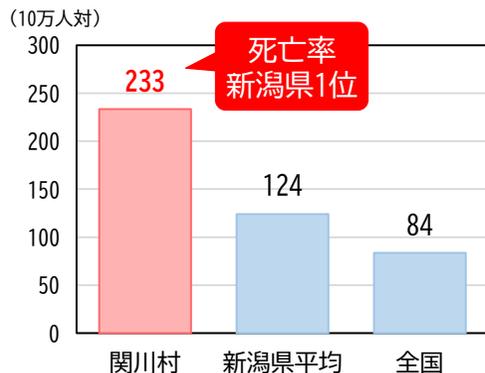
■ 写真1 荒川道路供用後の状況



4. 道路・地域の現状と課題(⑨医療)

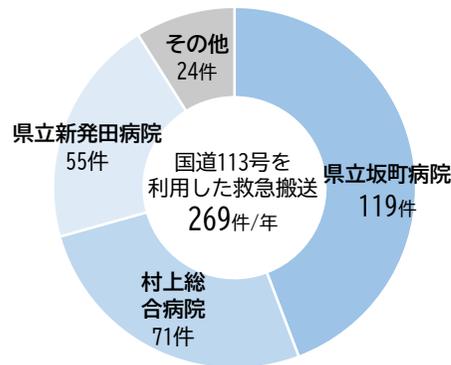
- 関川村の脳血管疾患による死亡率は県内1位であり、対象区間周辺集落から村上市・新発田市内の病院への救急搬送は国道113号を利用しているが、急カーブ区間等の走行環境に課題を有する。
- 山形県小国町では、出産や人工透析など一部の医療サービスを新潟県側の医療機関に依存しており、救急医療機関への搬送時間の短縮や搬送時の安全性確保など、迅速な救命救急活動の支援が必要。

■ 図1 脳血管疾患による死亡率 (R2)



資料：新潟県 人口動態統計月報年計(概数)の概況 (厚生労働省)

■ 図2 村上消防本部関川分署の搬送件数



資料：村上消防本部へのヒアリング結果 (R4)
(件数は2012年～2021年の年平均)

■ 図3 救急搬送における国道113号の利用状況



■ 搬送時の課題

- カーブ区間の走行には気を付けている。
- 搬送時はストレッチャーで横になって搬送することが多いので、特に揺れを感じやすいため速度はあまり出せない状況にあるが、救急活動はいち早く対応する必要があるため、走行の訓練をしている。
- 脳血管疾患患者の搬送は揺れや振動等の影響が無いようにする必要がある



資料：村上消防本部へのヒアリング結果 (R4)より

■ 山形県小国町の医療サービス状況

「出産」の場合

- H20年9月から小国町立病院での分娩が休止となり、町外に100%依存
- 小国町の出生者のうち約1割が新潟県で出産
(H28～R2年度の出生者数159人のうち15人が新潟県で出産)

「人工透析」の場合

- 小国町立病院に透析環境はなく、1～3回/週の通院頻度
- 小国町の人工透析患者のうち約2割が新潟県内の病院に通院
(R2年度の透析患者数25人のうち4人が新潟県に通院)

資料：小国町資料

5. 政策目標(案)の設定

	課題	原因
道路の信頼性 速達性	<ul style="list-style-type: none"> ○地域を支える幹線道路が脆弱 ・令和4年8月豪雨をはじめ、災害・事故に伴う通行規制が多発 ・通行止め時は広域迂回が必要 ・都市間の連絡速度が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害リスクの存在 ○代替路がない ○高規格道路としての未整備が存在
事故	<ul style="list-style-type: none"> ○重大事故の多発 ・過去10年で死亡事故が4件発生 ・正面衝突、車両単独事故の割合が多い ・降雪時は走行速度が大きく低下 	<ul style="list-style-type: none"> ○線形不良箇所が多数存在 ○地吹雪等の発生リスクが存在
物流産業	<ul style="list-style-type: none"> ○物流ネットワークが脆弱 ・取扱量が多い新潟港と東北間の重要な輸送ルート ・通行止め時に原材料の入荷や製品出荷に影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害リスクの存在 ○代替路がない
医療	<ul style="list-style-type: none"> ○救急搬送環境が不十分 ・脳血管疾患による死亡率が県内第1位 ・急カーブ等の走行に注意しながら救急搬送 ・搬送時間の短縮と安静搬送が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○線形不良箇所が多数存在
観光	<ul style="list-style-type: none"> ○観光周遊ルートが不安定 ・広域的な観光周遊ルートであるが通行止めリスクが高くツアー企画や安定運行に支障 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害リスクの存在

政策目標 (案)

信頼性の高い
道路ネットワークの確保

安全な交通環境の確保

安定的な
物流ルートの確保

安定した
救急搬送環境の確保

観光振興の支援

5. 政策目標(案)の設定(地域の将来像)

<新潟県> 新潟県総合計画(平成31年3月策定(令和4年4月改訂))		該当政策目標(案)
災害から県民の命と暮らしを守るハード対策の強化	○自然災害が発生しても人の命が守られ、救命・救急活動が迅速に行え、生活・経済活動を早期に回復させるため、避難路や緊急輸送道路の確保、市町村等と連携した住宅・建築物の耐震化、 <u>早期復興を想定したまちづくり</u> 等の事前復興を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼性の高い道路ネットワークの確保 ・安定した救急搬送環境の確保
高速道路網等の整備	○物流の効率化や観光・交流の促進及び災害時における道路の多重性を確保するため、 <u>広域道路ネットワークの構築</u> を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的な物流ルート of 確保 ・観光振興の支援
	○高速道路網を補完し、地域間相互の交流・連携を促進する地域高規格道路や直轄国道において、安全・安心を確保するため、 <u>道路ネットワーク整備や防災対策等</u> を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼性の高い道路ネットワークの確保 ・安全な交通環境の確保
広域観光連携の推進	○広域的に移動する外国人旅行者を本県に取り込んでいくため、東北・関東地方や上越・北陸新幹線沿線の近隣県との連携による <u>広域周遊ルート</u> の形成促進や開発・提案、観光プロモーション、情報発信などに取り組み、 <u>広域観光連携</u> を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興の支援
<関川村> 第6次関川村総合計画(令和3年2月策定)		該当政策目標(案)
幹線道路の整備	○高速道路(日本海沿岸東北自動車道)と地域高規格道路(新潟山形南部連絡道路)の整備促進及び計画区間の早期事業化のため、沿線市町村と連携し、関係機関への要望活動を強化します。特に現在事業が進められている地域高規格道路(鷹ノ巣道路・小国道路)については、救急・高次医療の搬送時間短縮や災害時等における国道113号の迂回路及び九ヶ谷地区住民の重要な生活道路として、また、物流事業者等への信頼性の確保、周遊観光ルートの確立などの観点からも早期完成を強く望んでおり、全線開通に向け強く働きかけを行うこととします。	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼性の高い道路ネットワークの確保 ・安全な交通環境の確保 ・安定的な物流ルート of 確保 ・安定した救急搬送環境の確保 ・観光振興の支援
<山形県> 第4次山形県総合発展計画(平成27年10月策定(令和2年3月改訂))		該当政策目標(案)
地域間・地域内交通ネットワークの充実強化	○内陸と庄内をはじめ、県内地域間、本県と近隣県の交流を支える、利便性が高く、冬季や災害時などでも安定的につながる、 <u>地域高規格道路等の横軸道路</u> など幹線道路網の整備及び機能強化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼性の高い道路ネットワークの確保
災害に強い強靱な県土づくり	○橋梁の耐震補強や落石防護柵の設置など道路施設の防災対策や緊急輸送道路等の整備・確保、水害・土砂災害・津波災害などの危険性が高い箇所における防災関連のインフラ整備を推進する。道路や鉄道、航空等の交通基盤について、災害時等における広域的な機能代替や補完(リダンダンシー)を考慮した整備や機能強化等を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼性の高い道路ネットワークの確保 ・安定した救急搬送環境の確保
置賜地域の発展に向けた主な取組	○新潟山形南部連絡道路の早期整備に向け、隣県等との連携を強化するとともに、一般国道287号米沢長井道路の整備を進め、置賜地域の高速交通ネットワークを充実強化していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な交通環境の確保 ・安定的な物流ルート of 確保 ・観光振興の支援

6. 意見聴取方法(案) (調査概要)

●意見聴取の概要

- ①実施目的：道路・地域の課題と、求められる道路機能に関する意見を収集
- ②実施主体：国土交通省北陸地方整備局 羽越河川国道事務所
- ③周知方法：ホームページ(バナー)、新聞広告、チラシ、ポスター、自治体広報、記者発表
- ④配布方法：WEB回答、郵送配布、会報配布、役場・道の駅等へのアンケート設置
- ⑤回収方法：WEB回答、郵送回収、役場等の回収ボックス(設置箇所は調整)
- ⑥意見聴取の期間：1~2ヶ月程度
- ⑦意見聴取の対象：下表の通り



◆アンケート調査対象(案)

調査対象者		調査手法
地域住民	・ 関川村(約1,800世帯/R2国勢調査)	・ 広報誌等への折込による全戸配布 ・ 郵送回収、WEB回答
事業者	・ 周辺立地企業(関川村、小国町) ・ 対象区間の利用企業：利用実績のある物流事業者	・ 郵送配布・郵送回収(150社程度想定) ※WEB回答も想定
道路利用者	・ 広域の道路利用者(回収ボックス設置箇所※) ※関川村・小国町	・ WEBアンケート ・ 留置アンケート(役場・道の駅等に設置)

◆ヒアリング調査(案)

項目	調査対象	
交通事業者	バス事業者(路線・高速)	2団体
警察・消防	新潟県警本部(村上署)、村上消防本部	2団体
物流	新潟県トラック協会、物流事業者(2社)	3団体
医療機関	坂町病院、小国町立病院	2団体
沿線企業等	主要企業(製造業・観光関連他)	5社
自治体等	新潟県、関川村	2団体

◆広報計画(案)

情報提供の項目
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元新聞でアンケート協力を呼び掛ける広告を掲載 ・ 羽越河川国道事務所・関川村ホームページに意見聴取バナーを設置し広報を実施 ・ 関川村で発行される広報誌等に協力を呼び掛ける紙面を掲載 ・ 羽越河川国道事務所等のSNS(X(旧Twitter)等)や広報パネルの設置を通じて幅広く広報を実施 ・ <u>オープンハウス等のイベントを開催し、地域関係者や道路利用者に対し、直接説明する機会を設ける。</u>

6. 意見聴取方法(案) (調査項目)

●意見聴取の内容について

意見聴取の内容は基礎的な情報に加え、地域の課題・政策目標(案)に対する意見を聴取

聴取事項①：対象区間の利用状況について

【地域住民用】

問1 国道113号(対象区間)の道路利用についてお聞きします。 (該当するものを1つ選んでください)	
①利用頻度	1.週に5回以上 2.週に3~4回 3.週に1~2回 4.月に1~2回 5.年に数回 6.利用していない(問2へ)
②利用目的	1.通勤・通学 2.通院 3.家事・買い物 4.仕事(運送・営業等) 5.観光・レジャー 6.その他(括弧内にご記入ください)
③主な交通手段	1.自動車 2.公共交通(バス・タクシー) 3.バイク 4.自転車 5.徒歩

【事業者・道路利用者用】

問1 国道113号(対象区間)の道路利用についてお聞きします。 (該当するものを1つ選んでください)	
①利用頻度	1.週に5回以上 2.週に3~4回 3.週に1~2回 4.月に1~2回 5.年に数回 6.利用しない(問2へ)
②利用目的	1.通勤・通学 2.通院 3.家事・買い物 4.仕事(運送・営業等) 5.観光・レジャー 6.その他(括弧内にご記入ください)
③主な交通手段	1.乗用車 2.大型貨物 3.小型貨物 4.その他(括弧内にご記入ください)

聴取事項②：政策目標(案) 道路・地域の課題について[共通]

問2 対象区間にはどのような課題があると思いますか?以下の①~④の各項目について、当てはまる番号1つを選んでください。	
①災害や天候による影響を受けやすい <信頼性の高い道路ネットワークの確保>	「問題と思わない」~「問題と思う」の 4段階で評価
②交通事故の危険があり安全性が低い <安全な交通環境の確保>	
③通行止めが多く物資輸送が不安定 <安定的な物流ルート確保>	
④観光ルートで使用する際に悪天候や災害といったリスクを感じる <観光振興の支援>	
⑤走行環境が悪く救急搬送に支障がある <安定した緊急搬送環境の確保>	
問3 「問2」で提示した課題以外に、課題だと感じていることがあれば具体的に記載してください。(自由記述)	

聴取事項③：その他意見

問4 「新潟山形南部連絡道路」全体について、ご意見ありましたら、ご自由にお書きください。

6. 意見聴取方法(案) (調査票(案) 1/4)

●調査票(案)

①調査概要(A3)

アンケートの回答方法

STEP 1 アンケートの
対象区間を確認



STEP 2 アンケート対象区間の
道路の課題を確認

-本紙の裏面です-



STEP 3 WEBまたははがきで回答する

※お一人様1回のご回答をお願いします。

WEBで回答する 以下のどちらかの方法でお答えください

①スマートフォンから

スマートフォンで右の二次元バーコードを読み込みアクセスしてください。回答フォームが開きます。



②パソコンから

「羽越河川国道事務所」で検索し、「新潟山形南部連絡道路 片貝～金丸」のバナーをクリックしてください。



はがきで回答する 同封の質問票に付属しているはがきに回答を記入いただき、以下のどちらかの方法で返信してください。

①お近くの郵便ポストに投函



②羽越河川国道事務所、関川村役場 公共施設、道の駅等の回収ボックスに投函



-質問票はこちらです-



みなさまのご意見をお聞かせください

かたかい かなまる

新潟山形南部連絡道路 (片貝～金丸区間)

道路計画に関する第1回アンケート調査

資料○

- 関川村片貝～金丸間の国道113号(対象区間)は県境部に位置し、災害や事故による通行止めの多発など様々な課題を抱えている区間です。
- 本アンケートは、**対象区間**の課題を解決するための道路計画の検討にあたり、皆様が日ごろ感じている道路交通の課題等について、ご意見をお聞きするために実施する調査です。

※ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。



今回のアンケートと道路計画の流れ

地域や道路交通の現状と課題の整理

今回
アンケート

道路交通・地域の課題把握

政策目標の設定
 対応方針の検討

アンケート

ルート案に対する意見の把握

対応方針の決定

お問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局 羽越河川国道事務所 工務第二課

TEL 0254-62-3211

E-mail ●●●●●@mlit.go.jp

みなさまのご意見お待ちしています。
ご協力よろしく申し上げます。

アンケートのご回答は令和●年●月●日(●)までをお願いします。

6. 意見聴取方法(案) (調査票(案) 2/4)

●調査票(案)

②道路の課題(A3)

新潟山形南部連絡道路(片貝～金丸区間)が抱える課題

1 信頼性の高い道路ネットワークの確保

⇒気象等による通行規制の影響により、主要幹線道路としての信頼性が低下

- 令和4年8月豪雨をはじめ、過去10年間に28回の通行規制が発生しています。
- 通行止め時は周辺に迂回路がないため広域な迂回が必要となります。
- 対象区間は豪雪地帯にあり積雪による速度低下が顕著です。



▲令和4年8月豪雨による被災状況



▲吹雪による視程障害の発生

2 信頼性の高い道路ネットワークの確保

⇒急カーブ区間等で事故が多発しており 安全性が低下

- 急カーブ区間や急勾配区間があり、交通事故発生リスクの高い箇所があります。
- 重大事故につながる正面衝突事故が多く死亡事故も発生しています。



▲国道113号の交通事故発生状況



3 安定的な物流ルートの確保

⇒通行止めによる広域迂回の発生等により、輸送に支障が発生

- 国道113号は新潟東港と山形県・宮城方面をつなぐ重要な物流ルートです。
- 通行止めの発生による広域迂回により、輸送の遅延等の影響が懸念されます。



4 安定した救急搬送環境の確保

⇒迅速かつ安定した救急搬送が確保されていません

- 関川村の脳血管疾患の死亡率は新潟県内1位で、救急搬送時の揺れや振動等の少ない環境が求められます。
- 対象区間は急カーブ区間等があり、安定した搬送のため速度が出せない等の課題があります。



5 観光振興の支援

⇒通行止め等により、周遊観光等の地域間の移動に支障が発生

- 新潟空港の国際線が令和5年1月に再開され、国道113号を利用した新潟県・山形県を周遊するインバウンドツアーの再開が期待されています。
- 一方で、国道113号は通行止めのリスク等が存在し、周遊ツアー等の広域観光を支える路線として安定性に課題があります。



6. 意見聴取方法(案) (調査票(案) 4/4)

●調査票(案)

④調査票[事業者用・道路利用者用] (A4裏表)

質問票 (回答ハガキにご記入をお願いします。)

質問① 国道113号(対象区間)の道路利用について
A～Dで該当する主なものを1つ選んで、番号に○をつけてください。「その他」を選択された方は括弧内に具体的な内容をお書きください。

A. 利用頻度	1. 週に5回以上 3. 週に1～2回 5. 年に数回 6. 利用していない(質問②へ)	2. 週に3～4回 4. 月に1～2回
B. 利用目的	1. 通勤・通学 3. 家事・買い物 5. 観光・レジャー	2. 通院 4. 仕事(運送・営業等) 6. その他
C. 主な交通手段	1. 乗用車 3. 小型貨物	2. 大型貨物 4. その他

質問②-1 国道113号(対象区間)の課題について
対象区間の課題A～Eについて、「問題と思わない」「問題と思う」の4段階で評価してください。

A. 災害や天候による影響を受けやすい
B. 交通事故の危険があり安全性が低い
C. 通行止めが多く物資輸送が不安定
D. 観光ルートで使用する際に悪天候や災害といったリスクを感じる
E. 走行環境が悪く緊急搬送に支障がある

質問②-2 その他の課題について
「問②-1」のA～Eの課題以外に、対象区間で課題と感じることがあれば、具体的に記入してください。

質問③ 新潟山形南部連絡道路について
「新潟山形南部連絡道路」全体について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケート回答例

●表面の質問を読み、あてはまる番号1つに○をつけてください
●自由記述欄はご自由に意見を記入ください。

(1)利用頻度	1	2	3	4	5	6
(2)利用目的	6	()	()	()	()	()
(3)主な交通手段	1	2	3	4	5	

質問②-1 対象区間の道路利用についてお聞きします。
【最も当てはまる番号を1つ選んでください。】

項目	問題と思わない	あまり問題と思わない	やや問題と思う	問題と思う
A. 災害や天候による影響を受けやすい	1	2	3	4
B. 交通事故の危険があり安全性が低い	1	2	3	4
C. 通行止めが多く物資輸送が不安定	1	2	3	4
D. 観光ルートで使用する際に悪天候や災害といったリスクを感じる	1	2	3	4
E. 走行環境が悪く緊急搬送に支障がある	1	2	3	4

質問②-2 「問②-1」で提示した課題以外に、課題と感じていることがあれば具体的に記入してください。

質問③ 「新潟山形南部連絡道路」全体について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

ご自由にご記入ください
例：迂回路がないので、通行止め時は通勤に支障が生じている。

ご自由にご記入ください
例：国道113号は唯一の幹線道路なので、災害の影響が少ない道路整備を希望する。

ご協力ありがとうございました。

新潟山形南部連絡道路 (片貝～金丸区間) はがき回答票

道路計画検討に関する第1回アンケート調査 事業者用・道路利用者用

新潟県関川村片貝地区から金丸地区の国道113号の道路計画を検討するにあたり、皆様のご意見をお聞かせください。

●詳しくは「北陸地方整備局 羽越河川国道事務所のHP」へアクセス願います。
羽越河川国道事務所

●WEBによる回答を行う場合は下記の二次元バーコードか、「羽越河川国道事務所」で検索し、右記のバーコードからアクセスしてください。

実施期間 令和5年 ○月○日まで (ご参加募集中)

新潟山形南部連絡道路 片貝～金丸

お問合せ
国土交通省 北陸地方整備局 羽越河川国道事務所 工務第二課
TEL 0254-62-3211 E-mail ●●●●●●●●@mlit.go.jp (平日9:00～17:00)

はがき回答票

◆本アンケートについて
このアンケートは対象区間沿線に立地もしくは利用が想定される製造業、運送業、観光業等の事業所に配布しています。
回答にあたり、**企業(または部署)としての回答**をお願いいたします。
各事業者配布のアンケートは、**各事業所1通分**の送付としております。
また、WEBからの回答も可能となっております。

◆返信方法
以下のいずれかで返信をお願いします。
①お近くの郵便ポストに投函をお願いします。
②羽越河川国道事務所、関川村役場、公共施設、道の駅等に設置の回収ボックスに投函をお願いします。

◆締切 令和●年●月●日(●)

回答はがき

郵便はがき
〒959-3196
新潟県村上市藤沢 27-1
国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所 工務第二課 行

差出有効期間 令和●年 ●月●日まで (切手不要)

ご協力をお願いいたします。

貴事業所についてお聞かせください。当てはまる項目の□にチェックを入れてください。

貴社名	
業種	<input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 卸売業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> 運輸業 <input type="checkbox"/> その他 ()
所在地	<input type="checkbox"/> 郵便番号 () [] 都・道・府・県 [] 市・町・村 地区名 []
ご担当者様	所属 () 氏名 ()

※個人情報を開示なく第三者に開示・提供することはありません。(法令により開示が求められた場合を除きます。)